

授業科目・形態	ソーシャルワーク論Ⅲ 講義	必修・選別の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	田中 誠	実務経験有無	有	開講期	2年後期

【授業の主題】

本講義ではソーシャルワーク実践の土台となる、相談援助における人と環境との交互作用に関する理論とジェネラリストソーシャルワークについての基礎を学ぶ。その上で、多様なクライアントが抱える多様な問題に対する様々な実践モデルとアプローチの基礎を学ぶ。

【到達目標】

ソーシャルワークの定義と枠組み、構造と機能および様々なアプローチの理解

【授業計画・内容】

- 第 1 回 オリエンテーション
- 第 2 回 相談援助とは①（ソーシャルワークの定義と枠組み）
- 第 3 回 相談援助とは②（ソーシャルワークを構成する要素とソーシャルワークの職場）
- 第 4 回 相談援助の構造と機能①（ソーシャルワークの構造）
- 第 5 回 相談援助の構造と機能②（ソーシャルワークにおけるニーズと機能）
- 第 6 回 人と環境の交互作用①（一般システム論）
- 第 7 回 人と環境の交互作用②（サイバネテックス、自己組織論、その他）
- 第 8 回 様々な実践モデルとアプローチ（治療モデル、生活モデル、ストレングスモデル）
- 第 9 回 第9回～15回の授業準備
- 第10回 心理社会的アプローチ、機能的アプローチ
- 第11回 問題解決アプローチ、課題中心アプローチ
- 第12回 危機介入アプローチ、行動変容アプローチ
- 第13回 エンパワメントアプローチ、ナラティブアプローチ
- 第14回 認知アプローチ、解決志向アプローチ、その他アプローチ
- 第15回 スーパービジョンとコンサルテーション

【授業方法】 講義形式

【授業準備】 事前に教科書を読んでおくこと

【主な関連する科目】 ソーシャルワーク論Ⅱ Ⅳ 中央法規

【教科書等】 新・社会福祉士養成講座7 相談援助の理論と方法Ⅰ 第3版中央法規
新・社会福祉士養成講座8 相談援助の理論と方法Ⅱ 第3版中央法規

【参考文献】 講義の中で紹介する

【成績評価方法】 筆記試験又はレポート80% 授業態度20%で評価する

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療ソーシャルワーカーとしての経験を活かして総合的かつ包括的な支援の在り方、その基盤となる理論を教授する。

【学生へのメッセージ】

様々なアプローチを学ぶ機会となるが、1つのアプローチでは援助は困難であり、各アプローチの優位側面を組み合わせることで援助することが大切である。したがって、様々なアプローチの特徴を理解してほしい。